

大切なポイント

1. 愛された弟子トマス

- ・テキストを読んでいくと、疑い深いトマスがどのように変えられていくかが分かる。

20:28 トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

- ・この1節からトマスについて、3点を考えることができる

1) 彼の正直さ（疑い深かった）

- ・彼は主の復活を信じられなかった、なぜか・・・？
- ① 彼は、イエスが他の弟子たちに姿を現された時、不在でその場に自分がいなかった。
- ② 彼は、他の弟子たちの言った言葉を信じなかった。
他の弟子たちは、復活の主と御出会った、と言ったが信じなかった。
- ③ 彼は、自分が確認しないかぎり信じなかった。
イエスの手にある十字架の釘跡を、自分で確認することを要求しました。

*つまり、トマスはこういう人でした。彼は自分に正直であったのです。

2) 釘跡の確認

- ・イエスは、あわれみに富んだお方 ⇒ 疑心の強かったトマスに、
20:27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

*ここにイエスが、疑心いっばいのトマスに、どのように応答されたかが分かります。

3) 彼の告白

20:28 トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

“私の” ⇒ 文法的には、所有格です。つまり、イエスは私の所有である！

- ・なんという変化でしょうか？ 27節⇒28節、わずか1節に大きな文脈的変化を見ることができます。
- ・皆さん。イエスに出会い信頼することに、時間はかかりません！
イエスを信じること、イエスを信頼することには、時間は入りません。
⇒ 信仰とはそのようです。

*トマスは、イエスの復活を確認し信じました。しかし、ここで注目したのは、イエスのことばです。

20:29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」

⇒ 信仰（信じるということ）は、見る見ないレベルではない！

2. 復活のイエスをどう受け入れるか？

- ・聖書は、イエスは復活したと語っています。しかし、私たちは肉眼で確認できません。だから、ある人は信じられないと言います。{イエスは、トマスに何と言われたか、覚えていますか？}

20:29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」

- ・「見ないで信じる人たちは幸いです。」 ⇒ これはキリスト信仰の中心では、信じるとは一体、どういうことでしょうか？

⇒ 五感で認知する以上のレベルのことです

{例 話} 「19年の眠りから覚めた男」

ポーランドであった実話。1988年、ジャン・グルゼブスキーという鉄道員が、車両連結のさいの事故で昏睡状態に陥った。医師は妻ゲルトルーダに、最悪に備えるよう告げた。しかし、彼女は希望を失うことなく夫の看病を続けた。彼女は毎時間、ベッドに寝ている夫の身体的位置を変える努力をし、彼女の家族も交代で見舞うようになった。

事故から19年の年月が経過した。突然、ジャンは目覚めた。19年の眠りから目覚めて彼は何を見たか？彼が最初に認識したのは、愛する妻ゲルトルーダであった。リハビリの専門家は、「もし奥さんの献身的な看護がなかったら、病人がこれほど良い状態を維持することは不可能であったであろう」と言った。今では、彼は手足を動かせるまでになった。感覚ももどりつつあり、軽いものなら持てるようになった。もうすぐ歩けるようになるでしょう。と言われている。奇跡的回復だ！

ジャンは自分が目覚めた世界が、19年前とは「別世界」であることに驚いた。振り返れば、彼が昏睡状態となったのは、ヨーロッパの共産主義が崩壊する1年前であった。妻のゲルトルーダは、長い眠りから目覚めた夫は「町の通りが色彩豊かになり、販売されている商品も豊富になっていることに驚いている。世界はととても美しくなった！」と言っていると言う。振り返れば、神は19年後にも彼とともにおられたのだ。

神は19年前にもおられ、現在もおられ、そしてこれからもおられるお方だ。時間を支配し、管理下に置かれるのが神である。つまり彼はその神ともになっていたのだ。

- * 時（人生）を支配する神を信じるとは、ただその神を信頼し受け入れるだけで十分

ま と め

主 題：「平安があなたがたにあるように！」

テキスト：ヨハネ 20 章 24－29 節 （27 節）

- ・ イエスは疑心に満ちたトマスに言いました。

20:27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

20:28 トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

- ・ イエス・キリストを信じるとは、どういうことですか？

1. 信じるとは全き信頼である

真の信頼は、五感で確認しなくても信頼できる

20:29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」

2. 信仰とは、神を自分の個人的所有とすること

20:28 トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

* 私たちはいかがでしょうか・・・。

* God bless you!